

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3126486号
(U3126486)

(45) 発行日 平成18年10月26日(2006.10.26)

(24) 登録日 平成18年10月4日(2006.10.4)

(51) Int. Cl.		F I	
A 4 1 B 17/00	(2006.01)	A 4 1 B 17/00	Z
A 4 1 B 9/06	(2006.01)	A 4 1 B 9/06	Z
A 4 1 B 9/04	(2006.01)	A 4 1 B 9/04	G
A 4 1 C 1/00	(2006.01)	A 4 1 C 1/00	E

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 実願2006-6695 (U2006-6695)
 (22) 出願日 平成18年8月18日(2006.8.18)

(73) 実用新案権者 502256099
 株式会社ルシアン
 京都府京都市中京区烏丸通六角下る七観音
 町634番地
 (74) 代理人 100123021
 弁理士 渥美 元幸
 (74) 代理人 100063026
 弁理士 岩永 方之
 (72) 考案者 奥野 浩二
 京都市伏見区竹田烏羽殿町15 株式会社
 ルシアン内

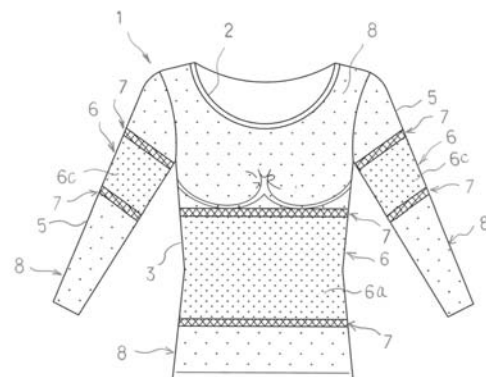
(54) 【考案の名称】 成型インナー

(57) 【要約】

成型インナーの所定の部位に、強圧編地と中圧編地と弱圧編地を設ける。締め付け部位を好適に締め付けてスマートな外形に補整することができる。編時の変り目がなだらかになり段部の生じない自然な一体感を持つ成型インナーを提供する。

【課題】縦、横方向に伸びて上半身にフィットする成型編みされたトップス1である。前身頃3の乳房下部から腹部を覆う前面部位6aと後身頃4の背中中間部から腰部を覆う後面部位6bおよび両袖5、5の二の腕部位6c、6cを強圧編地6とする。強圧編地6の上下端部に細幅の中圧編地7、7を介して弱圧編地8とする。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

縦、横方向に伸びて上半身にフィットする成型編みされたトップスであって、前身頃の乳房下部から腹部を覆う前面部位と後身頃の背中中間部から腰部を覆う後面部位および両袖の二の腕部位を強圧編地とし、その強圧編地の上下端部に細幅の中圧編地を介して弱圧編地としたことを特徴とする成型インナー。

【請求項 2】

縦、横方向に伸びて下半身にフィットする成型編みされたボトムであって、前身頃の腹部当布およびその腹部当布の両側上部から左右の体側部を通して後身頃の下臀部に沿い大腿部の付け根部までの帯状体を強圧編地とし、その強圧編地の上下端部に細幅の中圧編地を介して弱圧編地としたことを特徴とする成型インナー。

10

【請求項 3】

前記強圧編地と細幅の中圧編地は片畦編み、弱圧編地はタック編みであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の成型インナー。

【請求項 4】

前記強圧編地、細幅の中圧編地、弱圧編地は糸種を変えて着圧を変えてあることを特徴とする請求項 1, 2, 3 のいずれか 1 項に記載の成型インナー。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

20

本考案は、女性用の下着である成型インナーに関するものであり、さらに詳しくは、アンダーシャツ、タンクトップ、キャミソールなどの上半身に着けるトップスおよびショーツ、ガードル、スパッツなどの下半身に着けるボトムなど補整機能を備えた成型インナーに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来から、補整機能を有するインナーとしては、胸部のシルエットを美しく見せるブラジャー、胸部、腹部、臀部、大腿部を補整してプロポーションを美しく見せるボディースーツ、腹部、臀部、大腿部を補整してプロポーションを美しく見せるガードルなどが代表的なものである。

30

【0003】

これらのブラジャー、ボディースーツ、ガードルなどは、一般的にパワーネットなどの伸縮性生地と非伸縮性生地を縫製することによって仕上げられており、縫製工程が多くなって複雑化し、高度の縫製技術が必要となり手間がかかりコスト高になる。そして、着用時には生地の特性による締め付けでバストを寄せたり持上げたり、腹部やウエストを締め付けたり、ヒップを持上げたりして補整するのでどうしても締め付け感が強く、長い時間着用すると身体に部分的な圧迫が加わって不快感を感じたり、着用者の肌に圧迫痕が残ったりするという問題点があった。

【0004】

一方、前記のような強い締め付けによる体型補整機能を備えた着用感の良くないインナーとは別に、連続的に編成された縫い目のない全体的に柔らかく、あまり強く締め付けない着心地の良い成型インナーが提案されている。

40

【0005】

その成型インナーの一つに、アンダーシャツがある（例えば、特許文献 1～4 参照）。アンダーシャツは、肌に直接着けることによる体温の保温と調節および汗を吸収するなど、主として健康維持と衛生上の面から着用されているだけであり、腹部や二の腕部を補整してシェイプアップするという機能はなかった。

【特許文献 1】実開昭 61 - 30004 号公報

【特許文献 2】登録実用新案第 3064057 号公報

【特許文献 3】登録実用新案第 3025608 号公報

50

【特許文献4】登録実用新案第3069126号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら、上記の特許文献1～4のアンダーシャツは、例えば、腹部に付いた贅肉などの膨出を抑えて腹部の形状を美しくすっきりした形に補整することができないばかりか、二の腕に付いた贅肉の緩みを解消してスマートな腕に補整できない問題点があった。

【0007】

本考案は上記の問題点を解決することを課題として研究開発されたもので、成型インナーの所定の部位に、強圧編地と中圧編地と弱圧編地を設け、締め付け部位を好適に締め付けてスマートな外形に補整できると共に、編地の変り目がなだらかになり段部の生じない自然な一体感を持つ成型インナーを提供することを目的とするものである。

10

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記の課題を解決し、その目的を達成する手段として、本考案では、縦、横方向に伸びて上半身にフィットする成型編みされたトップスであって、前身頃の乳房下部から腹部を覆う前面部位と後身頃の背中中間部から腰部を覆う後面部位および両袖の二の腕部位を強圧編地とし、その強圧編地の上下端部に細幅の中圧編地を介して弱圧編地としたことを特徴とする成型インナーを開発し、採用した。

【0009】

20

また、縦、横方向に伸びて下半身にフィットする成型編みされたボトムであって、前身頃の腹部当布およびその腹部当布の両側上部から左右の体側部を通して後身頃の下臀部に沿い大腿部の付け根部までの帯状体を強圧編地とし、その強圧編地の上下端部に細幅の中圧編地を介して弱圧編地としたことを特徴とする成型インナーを開発し、採用した。

【0010】

上記の成型インナーにおいて、前記強圧編地と細幅の中圧編地は片畦編み、弱圧編地はタック編みであることを特徴とする成型インナー、および前記強圧編地、細幅の中圧編地、弱圧編地は糸種を変えて着圧を変えてあることを特徴とする成型インナーを開発し、採用した。

【考案の効果】

30

【0011】

成型編みされたトップスは、前身頃の乳房下部から下腹部にかけての前面部位と後身頃の背中中間部から腰部にかけての後面部位および両袖の二の腕部位を強圧編地としたから、腹部に付いた贅肉および二の腕に付いた贅肉の膨出を抑えて腹部と二の腕を補整して瘦身の形状にシェイプアップし、身体の線を美しく見せることができる。

【0012】

また、成型編みされたボトムは、前身頃の腹部当布およびその腹部当布の両側上部から左右の体側部を通して下臀部に沿い大腿部の付け根部までの帯状体を強圧編地としたから、臀部を下方から持上げてヒップアップして美しいヒップラインを造形できる。

【0013】

40

成型編みされたトップスまたはボトムは、強圧編地の上下端部に細幅の中圧編地を介して弱圧編地が編成されており、強圧編地部・中圧編地部・低圧編地部と締め付け力を段階的に編成されてあるから、各編地部の変り目での伸縮がスムーズになり、段差が生じることなく、滑らかになって自然な一体感によって美しいボディラインになると共に、着用時にはアウターに響かないので外観が美麗になる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0014】

以下に、本考案の第1実施の形態を添付図面の図1～2に基づいて説明すれば、1は丸編機で成型編みされた長袖のアンダーシャツ本体であるが、半袖、七分袖などの場合もあり、略U字状のネックライン2が設けられてあり、胸部から下腹部まで覆う前身頃3と背

50

中部から腰下部まで覆う後身頃 4 と肩部と腕部を覆う左右一对の袖部 5 から構成されている。

【 0 0 1 5 】

前身頃 3 にはバスト下部から腹部まで覆う比較的幅広の前面部位 6 a と、後身頃 4 の背中の略中間部から腰部までを覆う後面部位 6 b と、袖部 5 の二の腕部位 6 c を、それぞれ図 5 に示す片畦編みによる強圧編地 6 に編成してある。この前面部位 6 a と後面部位 6 b は周方向に連設して編成されてある。この強圧編地 6 は、30 d ナイロン系 4 本と、30 d / 70 F T Y 系 4 本と、20 d / 30 F T Y 系 4 本の糸条から構成された編地であり、比較的強く締め付けるようになっている。

【 0 0 1 6 】

7 は前記の強圧編地 6 と同じ片畦編みで編成された細幅の中圧編地であり、前面部位 6 a と後面部位 6 b と二の腕部位 6 c の強圧編地 6 の上下端部に連続して編成される。この中圧編地 7 の糸使いとしては、30 d ナイロン系 4 本と、20 d / 30 F T Y 系 4 本と、30 d / 70 F T Y 系 2 本の糸条から構成された編地であり、ほどほどに締め付ける。

【 0 0 1 7 】

8 は図 6 に示すようなタック編みの弱圧編地であり、片畦編みによる細幅の中圧編地 7 に続いて編成される。この弱圧編地 8 の糸使いとしては、30 d ナイロン系 4 本と、モダール系（レンチング社商標 レーヨン系）60 S 4 本と、20 d / 30 F T Y 系 4 本糸条から構成された編地であり、緩やかにフィットする。

【 0 0 1 8 】

このように構成した本考案の第 1 実施の形態に基づいて、その使用状態を作用、効果と共に説明すると、アンダーシャツ本体 1 を着用すると、腹部や二の腕など皮下脂肪がついて太くなり弛んでる部分をきつく編んで引き締め力を強くしてあるから、従来着用しても補整できなかったアンダーシャツの着用によって、弛みを引き締めて細く見せ上半身のボディラインを美しく整えることができると共に、バスト部は弱圧編地 8 によって膨らみを潰さずにソフトな締め付けでバストにピッタリとフィットしてバストへの圧迫感および締め付け感などなく着用感の良い美しいバストシルエットが得られる。

【 0 0 1 9 】

つぎに、図 3 ~ 4 に示すのは本考案の第 2 実施の形態を示すもので、上記第 1 実施の形態では、上半身に着けるトップスのアンダーシャツ本体 1 であったが、この第 2 実施の形態では、ボトムスのガードル本体 11 の例である。

【 0 0 2 0 】

すなわち、ガードル本体 11 は、所定の伸縮性生地で前身頃 12 と後身頃 13 を編成し、マチ布（図示せず）と縫い合わせて形成したものであり、前身頃 12 の腹部当布 14 a およびその腹部当布 14 a の両側上部から左右の体側部を通して後身頃の下臀部に沿い大腿部の付け根部までの帯状体 14 b を、図 5 に示す片畦編みによる強圧編地部 14 とし、この強圧編地部 14 の糸使いとしては、30 d ナイロン系 4 本と、20 d / 30 F T Y 系 4 本と、30 d / 70 F T Y 系 2 本の糸条から構成された編地であり、比較的強く締め付ける。

【 0 0 2 1 】

15 は前記の弱圧編地 14 と同じ片畦編みの細幅の中圧編地部であり、強圧編地部 14 の上下端部に続いて編成される。この中圧編地部 15 の糸使いとしては、30 d ナイロン系 4 本と、20 d / 30 F T Y 系 4 本と、30 d / 70 F T Y 系 2 本の糸条から構成された編地であり、ほどほどに締め付ける。

【 0 0 2 2 】

16 は図 6 に示すようなタック編みの弱圧編地部であり、片畦編みによる細幅の中圧編地部 15 に続いて編成される。この弱圧編地部 16 の糸使いとしては、30 d ナイロン系 4 本と、モダール系 60 S 4 本と、20 d / 30 F T Y 系 4 本糸条から構成された編地であり、緩やかにフィットする。

【 0 0 2 3 】

このように構成した本考案の第２実施の形態に基づいて、その使用状態を作用、効果と共に説明すると、従来のガードルと同様に着用すると、強圧編地部１４の腹部当布１４aにより、腹部に付いた贅肉などの膨出を抑えて、腹部の形状を美しくすっきりとした形に補整すると共に、後身頃１３の下臀部に沿う帯状体１４bの強圧編地部１４により、ヒップを下方から持上げてヒップアップでき、美しいヒップラインを造形できるものである。また、持上げられた臀部は弱圧編地１６によって、臀部の膨らみを潰さずフィットする。さらに、強圧編地１４と弱圧編地１６の間に中圧編地１５が介在されてあるから、スムーズに伸びると共に、その変わり目が段差を生じることがなく、滑らかになりアウターに響かない。

【００２４】

10

以上、本考案の主要な実施の形態を説明したが、本考案は必ずしも上記実施例に限定されるものでなく、本考案の目的を達成でき、かつ考案の要旨を逸脱しない範囲内で種々設計変更が可能であり、それらも全て本考案の範囲内に包含されるものである。

【産業上の利用可能性】

【００２５】

本考案の成型インナーは、長袖、七分袖のアンダーシャツだけでなく、袖なしのタンクトップやキャミソールなどのトップスに限らずショーツ、スパッツなどのボトムにも利用できる。

【図面の簡単な説明】

【００２６】

20

【図１】本考案の第１実施の形態を示すトップスの正面図である。

【図２】図１の背面図である。

【図３】本考案の第２実施の形態を示すボトムの正面図である。

【図４】図３の背面図である。

【図５】強圧編地と中圧編地の編組織図である。

【図６】弱圧編地の編組織図である。

【符号の説明】

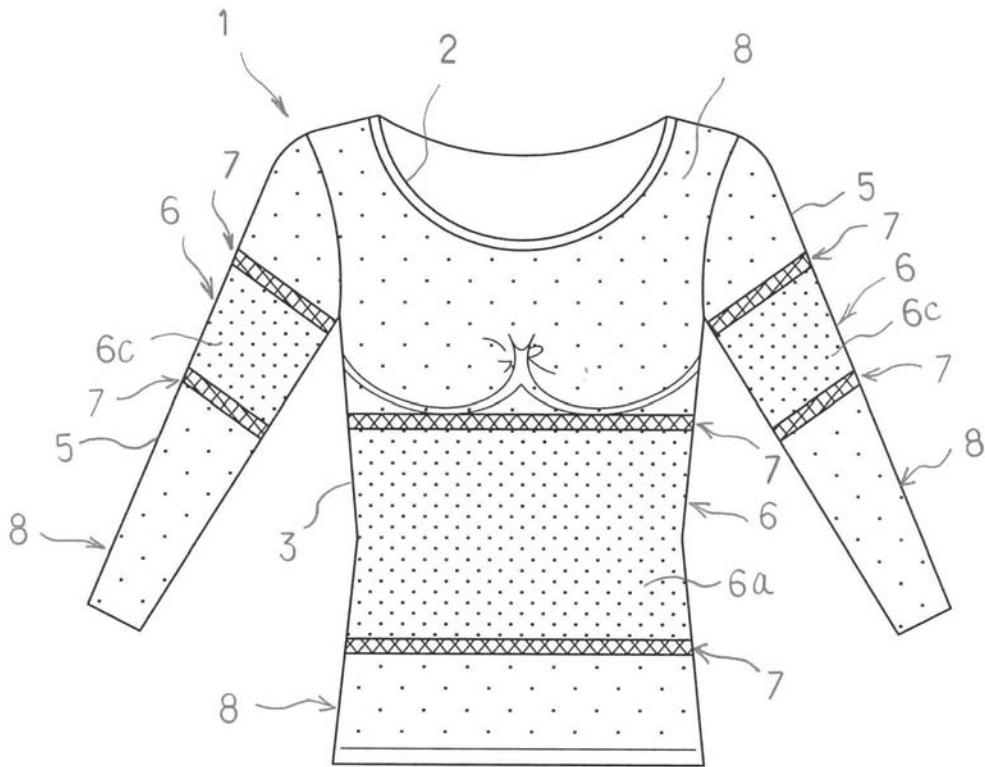
【００２７】

- １ トップス
- ３ 前身頃
- ４ 後身頃
- ５ 両袖
- ６ 強圧編地
- ６a 前面部位
- ６b 後面部位
- ６c 二の腕部位
- ７ 中圧編地部
- ８ 弱圧編地部
- １１ ボトム
- １２ 前身頃
- １３ 後身頃
- １４ 強圧編地
- １４a 腹部当布
- １４b 帯状体
- １５ 中圧編地部
- １６ 弱圧編地部

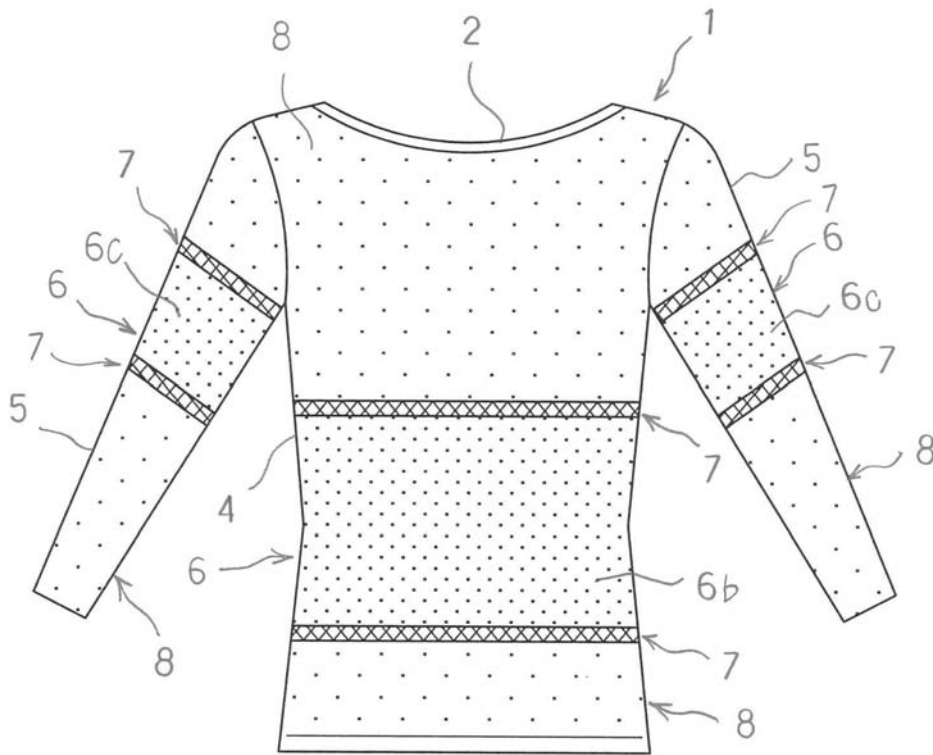
30

40

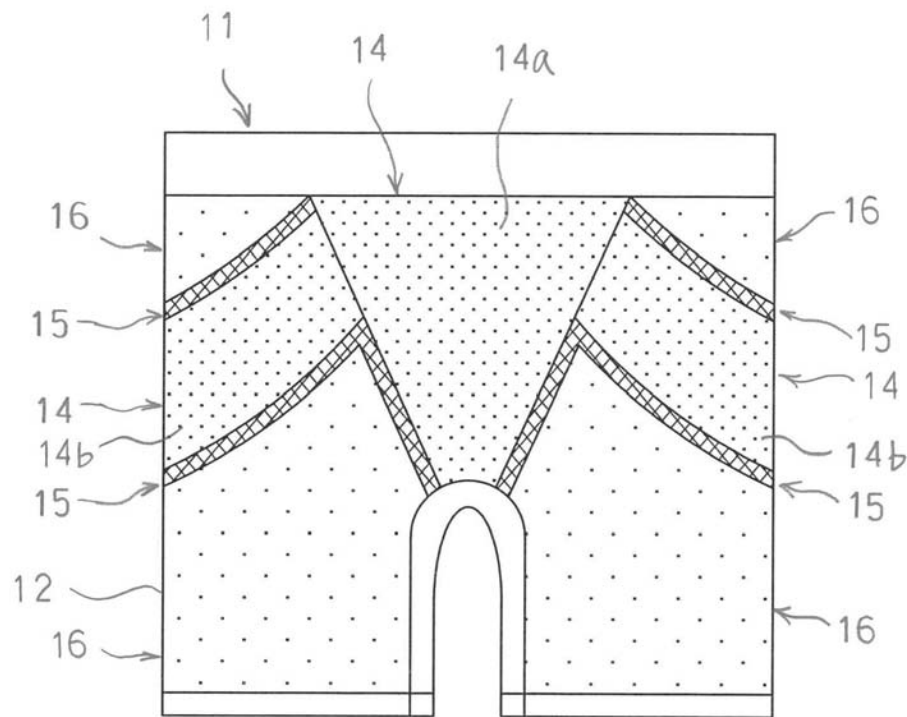
【図 1】



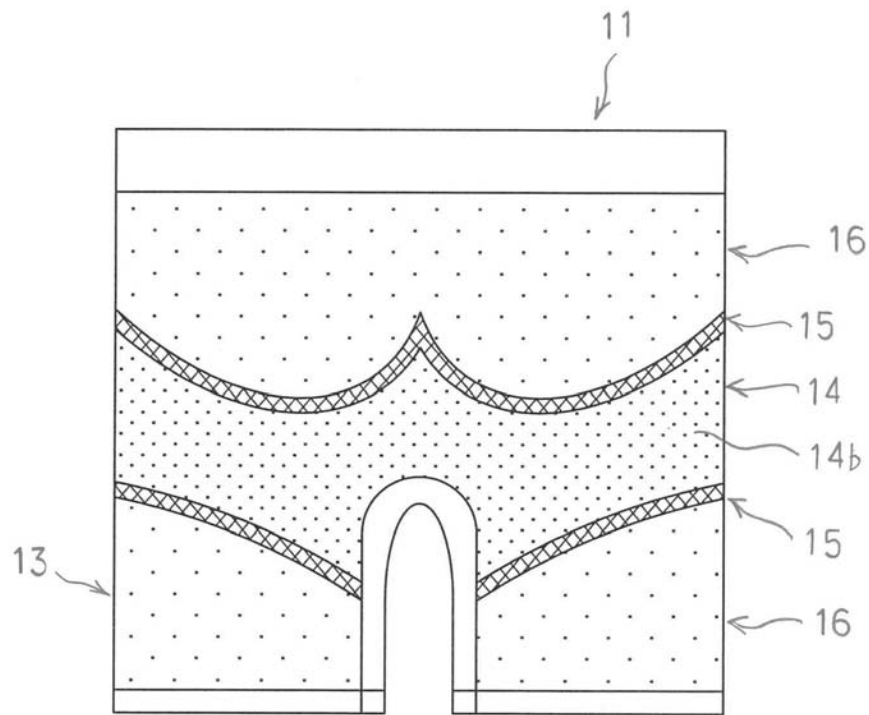
【図 2】



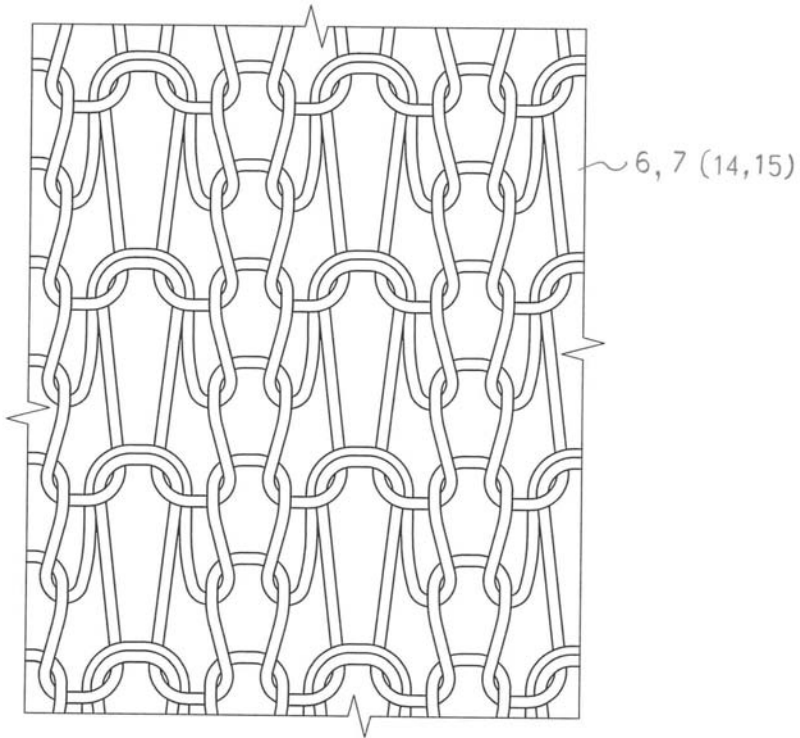
【図 3】



【 図 4 】



【図 5】



【図 6】

